

# ペットを“家族”にしてくれた 「くるま旅」



「キャンピングカーを買って一番良かったことは何ですか？」  
それを、約160人のキャンピングカーユーザーに聞いてみた。  
もちろん、答は個々のユーザーによって異なる。しかし、共通していえることは、それまでの人生では経験できなかったような、  
新しいライフスタイルを手に入れたことへの驚きが、その回答に反映されていた。  
今回の「くるま旅」ではこの調査をベースに、キャンピングカーユーザーのさまざまな感動体験を1冊にまとめてみた。

## 「キャンピングカーを買って一番良かったこと」調査概要

昨年の11月～12月にかけて、JRVAのホームページを通じて、キャンピングカーユーザーを対象に行った記述式アンケート調査。各ユーザーが、これまでのキャンピングカーライフを通じて一番良かったと感じたものを旅行体験、家族関係、趣味、ペットなどのテーマを選んで書き込んでもらったもの。期間中に158回答を集計。

## 犬連れ旅行を可能にしたキャンピングカー

「キャンピングカーを買って一番良かったこと」を尋ねた調査で、その筆頭に上がってきたのは、ペットネタである。

たとえば、アンケートに答えた30代のバンコンユーザーの男性は、キャンピングカーとペットとの相性の良さを次のように語っている

「キャンピングカーを買ったことで、一番悩んでいた愛犬の宿探しの苦勞がなくなり、犬と一緒に自由に旅行できるようになった」

同じく、調査に協力してくれた50代のバンコンユーザーはこういう。

「ペットと一緒に行動することで、旅行中にペットを留守番させる気遣いがなくなり、旅行自体が楽しくなった」

また、60代のキャブコンユーザーの男性の意見は次の通り。  
「家内と旅行をするときは、いつもペットを預かる人を探していたが、キャンピングカーを買ってから、その心配が解消された」

次の意見は、50代のキャブコンユーザーの女性の感想。

「ペットOKの宿は宿泊料金が非常に高く、年に数回しか泊まることができなかったが、キャンピングカーを使うようになってからは月に一回は旅に出られるようになった」

キャンピングカーが、なぜペット同伴旅行に適しているのか？

その理由のひとつとして、キャンピングカーが搭載している装備類がペット連れ旅行に適していることが挙げられる。

50代の男性バンコンユーザー、それをこのように表現する。  
「犬をドッグランなどで遊ばせた後は、室内シャワーで犬の足を洗ってあげる。また車内のドライヤーを使って、犬の体を乾かすこともできるので、いつでも清潔な旅ができる」



## ペットペンションは なかなか予約が取れない。 そこでキャンピングカーの購入を決意

4年前にキャブコンを買われた田濃孝司さん(66歳)・千鶴子さんご夫妻も、キャンピングカーの購入動機はペットだった。

「最初はペットを乗用車に乗せて、ペットペンションのようなところで泊っていたんですが、そういう宿はなかなか予約が取れないんですよ。そんなときに、テレビで軽キャンピングカーの特集をやっているのを見たんです。そこに登場していたオーナーが犬を連れて旅行をしているのを見て、キャンピングカーを買う決意をしました」

そう語る田濃さん。

食事やお風呂などに行くときには、ペットを車内に残していくことになるが、キャンピングカーは断熱性がいいので、外気温をそんなに気にすることもないという。

※条件により差がありますので、場合によってはエアコンを使用するなどして、ペットの状態にはご注意ください。



  
田濃さん  
ご夫妻



  
仁藤さん  
ご夫妻



## ペットのために、 エアコンが使えるキャンプ場泊が主体

キャンピングカーユーザーはキャンプ場で泊るよりも、道の駅や高速道路のSA・PAで泊っていると思われるがちである。しかし、5.8mサイズのキャブコンに乗っている仁藤明彦さん・洋子さんのご夫妻はキャンプ場派。

「ペットのために、やはり車内でエアコンが使える環境で泊りたいんですよね。そうするとAC電源が取りやすいキャンプ場泊となります」

とご主人の仁藤明彦さんは語る。

「また、休憩するところも、なるべくドッグランなどがある道の駅などを選んでいきます」とも。

けっきょく、犬が楽しいことは人間にとって楽しいこと。だから仁藤さんのキャンピングカー旅行は、常にペットが快適な旅をできるようなスケジュールになっているとのこと。

このように、ペットを中心にキャンピングカーライフを組んでいるユーザーの例は実に多い。

## 犬たちのために手作りステップも用意

キャブコンを購入してようやく1年目となる竹内誠さん(55歳)と知子さんご夫妻。一緒に旅するのはペアちゃんとピッケちゃんという2匹のワンちゃん。室内もあらかじめペット仕様になっていて、ダイネットは常にハーフベッド状態。

つまり、半分フラットになったベッド部分が犬たちのくつろぐエリアになっている。さらに、ペットたちがフロアからベッドに楽に乗れるように、奥様が手作りしたステップまで用意されている。



  
竹内さん  
ご夫妻

## 行き先を決めずに、 ワンコといっしょにぶらり旅



  
富澤さん  
ご夫妻

キャンピングカーを買うまで、犬と一緒に旅行するときはペットホテルを利用していたという富澤英夫さん・あゆみさんご夫妻。

「しかし、ペットホテルは料金が高いし、犬には快適であっても人間には快適でないところもあるんです(笑)」と富澤さんはいう。

そこでNV200ベースのキャンピングカーを購入。ペットホテルに予約を取る必要がなくなったので、行き先を決めずにフラッと旅に出られるようになったという。

感動体験!!

160人のコアユーザーの  
キャンピングカーライフ

【CHAPTER 2 : FAMILY】



# キャンピングカーで 仲良し家族誕生



「キャンピングカーを買って一番良かったこと」というアンケート調査では、

「家族の絆が深まった」と答える人が非常に多かった。

この場合の「家族」とは、子供を交えたファミリーを指す場合もあれば、

「夫婦2人」のことをいう場合もある。

たとえば、軽キャンピングカーに乗る40代の男性ユーザーは次のように語る。

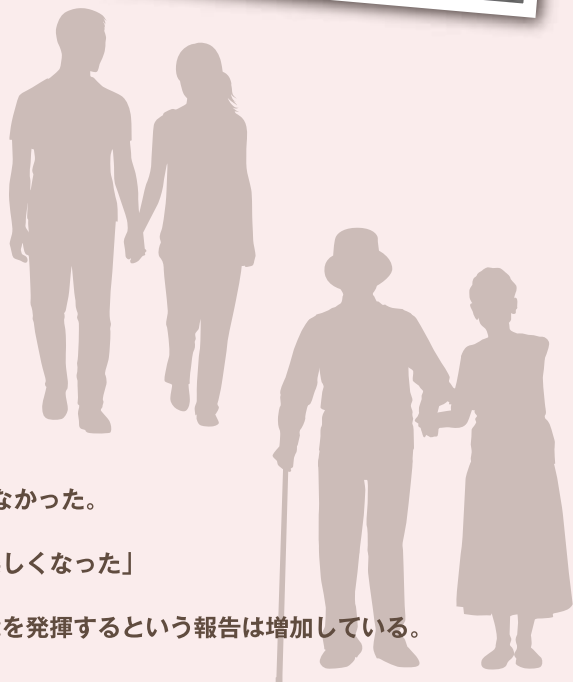
「キャンピングカーのメリットは、子供とゆっくりと色々な話ができること」

また、キャブコンに乗る60代の男性ユーザーは、こう言う。

「キャンピングカーがなければ、家族がそろって旅行したりすることはほとんどなかった。

しかし、キャンピングカーが1台あると、家族そろって出かけることで、生活が楽しくなった」

このように、キャンピングカーが家族のコミュニケーションを活発にさせる機能を発揮するという報告は増加している。



# 17歳の息子さんも交えた 家族水入らずのキャンピングカー旅行

昨年はじめてキャンピングカー(キャブコン)を購入した奥山洋行さん(44歳)ファミリーは、現在17歳の息子さんを交えた3人家族で充実したキャンピングカーライフを送っている。

一般的に、17歳ぐらいの年齢になると、親と一緒に旅行しない子供の方が増える。しかし、奥山さん一家の場合は、ごく自然にご長男を交えた家族水入らずのキャンピングカー旅行を楽しんでいる。

「息子は小さい頃から親と一緒にテントキャンプを楽しんでいたから、親とアウトドアを体験することには抵抗がないんじゃないのかな」と、お父様の洋行さんは話す。

仕事柄、洋行さんは日頃はほとんど家に帰らないことが多い。

「だから、たまにオヤジと一緒にいると、息子は“可愛そうだから旅行ぐらい付きあってやるか”という気持ちになるんじゃないでしょうか(笑)」とも。

洋行さんは地方での仕事が多いため、これまでも日本全国を回ってきた。しかし、キャンピングカーを買ってからは、地方の町を眺めるときの意識が変わったという。

「常にキャンピングカーで車中泊することを念頭に置きながら景色を眺めるようになったんですよ。環境のいい場所を見つけたら、“今度ここに家族を連れてきてあげよう”とかね(笑)」

キャンピングカーには、今まで見過ごしていたような何気ない風景を、「家族旅行の視点」で素敵な風景に見つめ直す力が備わっているかもしれない、と奥山さんは語る。



奥山さん  
ファミリー

## キャンピングカーで夫婦の会話が復活 ~2人のコミュニケーションが深まる

キャンピングカー旅行は、子育てを終えたシニア夫婦にも普及している。そういうときのキャンピングカーは、夫婦のコミュニケーションを深めるために一役かっている。

夫婦の仲睦まじい旅の夜の1コマを、アンケートに答えた50代のキャンピングトレーラーオーナーの男性は、こう表現する。

「夫婦2人で目的地近くまで行き、夜は道の駅などで、12Vの灯りを頼りに、夫婦で語り合い、呑みあう。翌日はお目当てのキャンプ場にトレーラーを置き、ヘッド車で遊びに出掛け、湖、滝、森、花などを鑑賞。キャンプ場に帰

ってからは車内で食事を済ませ、きれいな星などを眺めながら、またゆっくりと過ごす」

バンコンユーザーのある60代の男性は、次のように語る。

「それまで単身赴任であったが、定年でリタイヤし、ようやく妻とキャンピングカー旅行ができるようになって、意思の疎通が図れるようになった」

また、50代の男性キャブコンオーナーは、こう答える。

「夫婦も歳を取ってくると、家においても会話が少なくなるが、キャンピングカーで旅していると会話ははずむ」

## 孫を交えた3世代キャンピングカー旅行が増える

最近、キャンピングカー旅行で目立ってきたのは、祖父・祖母、親、孫といった家族構成による“3世代旅行”だ。

アンケート調査でも、孫とキャンピングカー旅行を楽しむ報告が目立つようになってきた。

たとえば、「キャンピングカーを買ってからは、娘婿も巻き込んで、かわいい孫娘と楽しいキャンピングカー旅行を味わっている」(60代男性・キャブコンユーザー)

あるいは、「孫たちと同じ目的をもって、同じ時間を共有する機会を得たことで、改めて夫婦関係を楽しむことができるようになった」(50代男性・キャブコンユーザー)。

さらには、「これまで自分はアウトドア派ではなかったが、キャンピングカーのおかげで、孫と共にキャンプ場に行ったり車中泊しながら旅行に行くようになった」(60代男性・バスコンユーザー)



下西さん  
ファミリー

## 6人の孫とキャンプ場で楽しむ

10年ほど前のグランドハイエースのキャブコンを手に入れた下西一二三さん・登美子夫妻は、そういう3世代旅行を楽しんでられる方の一人だ。

下西さんは二人の娘さんを持たれ、その娘さんにそれぞれ3人ずつのお子さんがいっぱい。孫の数は6人。孫全員を1台のキャブコンに収容し、キャンプ場などに出向いて、アウトドアライフを楽しませているという。

また、2人の娘さんの家にはそれぞれワゴン車があるため、それぞれの家庭のスケジュールさえ合えば、3家族合同キャンプなどを開くことも可能。6人のお孫さんたちも、今ではすっかりキャンピングカーになじんで、旅を楽しむようになっている。